

山形美術館 令和2年度事業報告

概要

令和2年度の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大幅な変更をせまられた。

公益事業では、春に「出逢い-相田みつを展」、夏に「ますむらひろし展」、冬に「最上三十三観音子歳御開帳記念 霊地やまがた-こころの源泉をたどる-」および「山形 美の鉱脈 明治から令和へ」の4本の企画展、ならびに県内の美術愛好家を対象に県民の美術振興を図る公募展「山形県総合美術展」、「山形県総合書道展」、「山形県写真展」の3県展、さらに収蔵品によるテーマ展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大とその防止のため、「出逢い-相田みつを展」を会期中途中で一時休館を行ったほか、「ますむらひろし展」、「山形県総合美術展」、「山形県総合書道展」、および「最上三十三観音子歳御開帳記念 霊地やまがた-こころの源泉をたどる-」を中止とした。

これに伴い、企画展事業は収蔵品を中心としたテーマ展に切り替え、秋から「やま・かわ・やまがた」、「描く女性たち」、「山形 美の鉱脈」を実施した。このうち「描く女性たち」、「山形 美の鉱脈」については「令和2年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業」の助成を受けた「山形県文化芸術交流発信事業」として実施した。また、これまで別館で公開していた長谷川コレクションと新海竹太郎・新海竹蔵の彫刻を1階第1展示室へ、2階第4展示室で公開していた吉野石膏コレクションを1階第2展示室へ移し、それぞれテーマを設けて作品を紹介した。これらにより当館の収集方針である「山形の美術」、「日本および東洋の美術」、「フランス近代美術」に基づいて収蔵された作品の魅力を伝えるとともに、地域における美術館の役割を見直すきっかけとした。さらに県展については、感染症拡大防止の対策を行った上で「山形県写真展」のみを実施した。

また展示施設貸与事業は、予定されていた21の展覧会のうち、17が中止となった。そのほか、キャンパスメンバーズ制度、他館への作品貸出し、大学生の博物館実習指導は継続して行ったが、鑑賞プログラムや美術講座などは感染予防のため実施を見送った。

公益事業関連の展覧会総入場者数は、山形県の「やまがたの文化応援キャンペーン」等の支援があったものの、30,202人とどまった。令和元年度の91,525人と比較すると、企画展事業と収蔵品展事業で39,210人の減少、展示施設貸与事業で22,113人の減少、合計で61,323人の大幅な減少となった。

収益事業は、1階の「ブローニュ」の委託営業、ミュージアムグッズの取り扱いを引き続き行った。

法人運営および施設管理では、国・山形県・山形市の支援を受け、非常用放送設備と火災報知設備、および来館者用エレベーターの更新工事を行ったほか、サーモグラフィーの設置など、一年を通して新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した。さらに適切な収蔵品管理を行うとともに、施設の長期改修の方向性について検討した。

1. 公益事業

企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する以下の事業を行った。

4月3日-5月27日(4月25日-5月10日休館) 出逢い 相田みつを展

《にんげんだもの》をはじめ、平易でありながらも力強い言葉で、今もなお、世代を超えて多くの人々に親しまれている相田みつを(1924-1991)の生涯を、相田みつを美術館の所蔵品 180点により紹介した。新型コロナウイルス感染症の拡大予防策として、手指の除菌、マスクの着用、サーモグラフィーによる検温、さらに作品展示レイアウトの再考、混雑状況に応じた入場制限を行った。また緊急事態宣言に伴う県からの休業要請を受け、4月25日から5月10日まで休館。11日に再開して会期を27日までに延長した。予定していた講演会や朗読会、ギャラリートークなどの関連イベントは全て中止とし、相田みつを美術館

長相田一人氏によるオンライン・ミニギャラリートークの動画を4月24日から動画投稿サイト YouTube の山形美術館公式チャンネルで配信した。新型コロナウイルスをめぐって社会的な不安が広がる中、相田みつをの言葉は来館者の共感を呼び、心の癒しとなった。

10月9日-11月1日 やま・かわ・やまがた 風景をみつめた画家たち

当館の収蔵品から、月山や蔵王といった山々、母なる川・最上川などを題材にした菅野矢一、小松均、真下慶治といった山形ゆかりの作家ら24名による87点を紹介、表現方法やそれぞれの風景に注いだ眼差しの違いや、われわれの身近にある自然を見つめ直す機会とした。山形県の「文化芸術の秋キャンペーン」連携企画として、毎週土曜日に担当学芸員によるミニギャラリートーク、10月18日には小中生を対象に「美術館こども探検ツアー」を開催した。

11月17日-12月6日 描く女性たち

当館の収蔵品から、日本の女性洋画家の先駆けとなった桜井浜江(1908-2007)を中心に、清原雪信(1643-1682)、島成園(1892-1970)、峰村リツ子(1907-1995)、米沢出身吉池青園(1896-1924)、抽象画で活躍した山形市出身の岩田ちよ(1917-1999)ら近世から戦後までに活躍した女性の作品50点を紹介。男性中心の美術界に身を置きながら、生涯を通じて自らの表現を追求した女性画家の姿に触れる機会とした。関連企画として、ダンススペース主宰で山形大学地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術学科の加藤由美氏による、桜井浜江の作品に着想を得た創作ダンス「念と芻(すう)」を動画投稿サイト YouTube の当館公式チャンネルで公開した。また山形県の「文化芸術の秋キャンペーン」連携企画として、11月21日、28日、担当学芸員によるミニギャラリートーク、11月22日には小中生を対象に「美術館こども探検ツアー」を開催した。

12月10日-2021年1月31日 山形 美の脈脈 明治から令和へ

山形における明治から現代までの多彩な表現と時代を超えて見られる山形の美術の特徴を、収蔵品を中心に、山形ゆかりの現代作家・グループなどを含む65名による128作品(約500点)により紹介した。展示は「1肖像」「2かたち」「3実景とユートピア」「4日々」「5ドキュメント」「6場所」の6つのテーマのもとに絵画、写真、彫刻、映像などを展示、高橋由一の水彩画と現代作家の映像の並置など、収蔵品の意外な魅力や、作品同士の共通点を連想する楽しみ、来場者の自由な鑑賞を引き出す試みとした。会期の前半には老朽化への対応と新型コロナウイルス感染防止のため、来館者用エレベーターの更新工事を実施した。

2月20日-3月22日 第55回山形県写真展

山形県写真展は、県内の写真愛好家の質的向上と相互交流を目的に1967年に第1回展を開催し、今年で55回を迎えた。新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、個人搬入を取りやめ、郵送及びカメラ店の搬入受付、また審査を非公開とし、本年度唯一の県展として開催することとした。55回展には、16歳から92歳までの460名から2,082点の一般公募作品が搬入。写真家の鈴木一雄氏による2日間にわたる審査によって、入賞12点、準入賞10点、努力賞10点、入選416点が選ばれた。会場には公募作品に加え、審査員と無鑑査作品など、計467点を展示。山形の四季折々の風景写真のほか、モチーフや構図に独創性の溢れる多彩な写真が並んだ。

収蔵品展事業

山形美術館では、日本および東洋の美術、山形の美術、フランス近代美術の3分野について、美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。6月から10月にかけて1階第1および第2展示室において、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションの作品を、3期に分けて紹介した。以降も、第1・第2展示室でそれぞれテーマを設けて優品を紹介するとともに、ロビーにおいても新海竹太郎・竹蔵

の彫刻や郷土作家の絵画を紹介するなど、1階を収蔵品や郷土作家を紹介するフロアとした。

6月4日-10月4日 フランス近代絵画の精華 印象派から戦後まで

本展は当初、6月21日までの会期を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、6月以降の企画展や秋までの展示施設貸与事業が中止となったことを受け、1階第2展示室において下記の3つのテーマと会期により実施した。吉野石膏コレクションと服部コレクションの作品を厳選して毎回約30点を展示。印象派、ポスト印象派、フォーヴィスム、キュビズム、表現主義、シュルレアリスム(超現実主義)など、新しさを追求した近代美術の展開と戦後のフランス絵画の伝統と革新が織りなす豊穡な響きあいを紹介した。

6月4日-7月19日 吉野石膏コレクション 印象派の輝き

マネ、モネ、ルノワール、シスレー、セザンヌ、ゴッホなど

7月22日-8月30日 フォーヴから戦後の具象まで

ルオー、ヴラマンク、ピカソ、カンディンスキー、ブリアンション、ビュッフェなど

9月1日-10月4日 エコール・ド・パリ マルク・シャガールを中心に

シャガール、ユトリロ、ローランサン、キスリングなど

10月9日 3月28日

「吉野石膏コレクション名作30選」

6月4日-10月4日 紅花商家ゆかりの名品 長谷川コレクション

当館の別館で紹介してきた長谷川コレクションを、1階第1展示室において、3期に分けて紹介した。江戸時代の紅花商家の流れをくむ長谷川家が守り伝えてきた美術品の素晴らしさを紹介した。

6月4日-7月19日

横山華山《紅花屏風》、川合玉堂《細雨》ほか、動物や草木、花などを主題とした作品を展示

7月22日-8月30日

松尾芭蕉《出羽三山短冊》、与謝蕪村《奥の細道図屏風》ほか、美人画などを展示

9月1日-10月4日

田能村竹田《浅絳山水図》、高橋草坪《竹筍蜻蜓図》ほか、山水画、神仏主題の作品を展示

10月9日-12月6日

狩野益信、狩野周信、狩野雅信らの作品20点

12月10日-1月31日

熊代熊斐《松鷲梅孔雀図屏風》、谷文晁《慈母観音図》など17点

2月3日-3月28日

長沢芦雪《富士見西行図》、岡田半江《米法山水図》など15点

収蔵品展事業による、本年度新収蔵品は寄贈17件である。桜井浜江の初期の油彩画のほか、工藤道汪の日展特選受賞作2点、太田三郎のPostWarシリーズを受贈した。また佐藤朝山の木彫作品1点の寄託を受けた。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)1,166件、合計1,671件となった。

展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業であり、本年度当初においては21の展覧会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大やその防止のためにほとんどが中止となり、11月以降、4つの展覧会の実施にとどまった。

その他

収蔵品を活用した事業や指導など以下の事業を行った。本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、

美術講座、山形美術館鑑賞プログラム、美術教育普及活動は実施を見送った。

1. 山形美術館キャンパスメンバーズ制度の実施

学校教育等における当館の有効活用を目的に、平成29年度より設けた「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を本年度は9校が利用。常設・企画展の常時入館無料のほか、授業での解説指導等を実施した。

2. 服部コレクションなど収蔵品館外貸出による他機関への協力

弘前市立博物館「パリの見た夢 服部コレクション 20世紀フランス絵画展」に51点を貸出したほか、「モネとマティス もうひとつの楽園」(ポーラ美術館)、「生誕100年記念 佐藤助雄銅刻展」(天童市美術館)、「青龍社から東方美術協会へ」(大田区立龍子記念館)、「琳派と印象派 東西都市が生んだ美術」(アーティゾン美術館)、「与謝蕪村 「ぎこちない」を芸術にした画家」(府中市美術館)など、他機関の企画展に対し収蔵品の貸出協力を行った。

3. 博物館実習生の受け入れと指導

博物館実習は、東北芸術工科大学8名、新潟大学1名、計9名をのべ6日間受け入れ、美術館の機能と業務概要、資料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。

2. 収益事業

1階の「ブローニュ」が委託による営業を再開し、コーヒーや限定ランチの提供により、鑑賞者の憩いの場となるよう努めた。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーでは、展覧会図録や関連グッズなどの販売物を引き続いて取り扱った。

3. 法人運営および施設管理

新型コロナウイルス感染症対策のため、文化庁と山形県の感染症予防対策事業による受付へのサーモグラフィ設置、また山形県と山形市より山形美術館感染予防対策事業による来館者用エレベータの更新工事、さらに文化庁と山形県ならびに山形市からの補助による非常放送設備と火災報知設備の更新工事を実施した。また収蔵品や企画展開催中の作品管理のため温湿度の管理のほか、今後の施設の維持活用のための長期改修の方向性を検討した。

4. 成果と課題

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大は、計画していた企画展事業と施設貸与事業のほとんどが中止となり、事業の大幅な見直しに迫られ、館の運営にも深刻な影響を与えた。感染予防対策に追われた一年となったが、来館者と職員の安全、さらに施設と収蔵品の安全のため、国・山形県・山形市からの助成により来館者用エレベーターなど設備の更新を行った。企画展事業については、収蔵品を中心に再構成することにより、山形美術館の収蔵品の魅力と山形の美術の多様性を紹介することができた。

今後、非常時への臨機応変な対処が可能な体制の構築を関係機関と連携しながら進めていくとともに、引き続き、地域の芸術創造の拠点として、優れた芸術に親しみ、地域の文化振興の役割を果たすよう務めていく。

令和2年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

〔企画展〕

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
出逢いー相田みつを展	4月3日～5月27日 (4月25日～5月10日まで臨時休館)	5,404	122	277	1,660	7,463	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、県芸術文化協会、山形市、市教委、市芸術文化協会、NHK山形放送局、相田みつを美術館	相田みつを美術館館長相田一人氏の講演会やギャラリートーク、ワークショップなどの関連イベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止。4月24日から5月27日まで、相田一人館長ミニギャラリートーク動画をYouTube「公益財団法人 山形美術館 公式チャンネル」で公開。 山形県からの休業要請を受け、4月25日～5月10日まで臨時休館。5月11日～27日まで会期延長。
フランス近代絵画の精華ー印象派から戦後まで吉野石膏コレクション・服部コレクション	6月4日～10月4日 (全3期)	4,194	541	391	1,045	6,171	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	新型コロナウイルス感染症の影響により、ギャラリートークなどの関連イベントは実施しなかった。
やま・かわ・やまがた	10月9日～11月1日	1,128	232	251	348	1,959	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	10月10、17、24、31日に学芸員によるミニギャラリートーク、10月18日に美術館こども探検ツアーを開催。
描く女性たち	11月17日～12月6日	940	413	71	463	1,887	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	11月21、28日に担当学芸員によるミニギャラリートーク、11月22日美術館こども探検ツアーを開催。関連企画として山形大学地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術学科加藤由美氏による創作ダンス動画「念と鶴 桜井浜江の『樹』と『立つ』を踊る」をYouTube「公益財団法人 山形美術館 公式チャンネル」で公開。
山形美の脈 明治から令和へ	12月10日～1月31日	800	476	27	709	2,012	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	新型コロナウイルス感染症の影響により、ギャラリートークなどの関連イベントは実施しなかった。
第55回山形県写真展	2月25日～3月21日	1,806	137	42	2,718	4,703	山美、山新、山放、県写真連盟、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、市教委、県写真材料商組合	2月13、14日に写真家・鈴木一雄氏による非公開による審査を実施。
企画展計 (A)		14,272	1,921	1,059	6,943	24,195		

〔収蔵品展など〕

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
収蔵品によるテーマ展 ・吉野石膏コレクション名作選 ・長谷川コレクション展	11月3日～11月15日	502	89	189	108	888		
巨匠の広場、新海竹太郎、新海竹蔵の彫刻、彫刻の小部屋	2月3日～2月21日	208	43	14	80	345		

令和2年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

収蔵品によるテーマ展 ・吉野石膏コレクション名作選 ・長谷川コレクション展 巨匠の広場、新海竹太郎、新海竹蔵の彫刻、彫刻の小部屋	3月25日～ 3月28日	47	15	4	44	110		
収 蔵 品 展 計 (B)		757	147	207	232	1,343		
館 主 催 展 計 (C=A+B)		15,029	2,068	1,266	7,175	25,538		

[展示施設貸与事業など]

事 業 名	期 間	入 場 者 数					主 催、共 催、後 援 等	備 考
		一 般	高 ・ 大 生	小 ・ 中 生	会 員 ・ 招 待	計		
北 展 会 員 会 友 希 望 者 に よ る 展 覧 会	10月16日～ 10月20日	390	-	-	-	390	東北現代美術協会有志	
山 形 市 芸 文 協 会 総 合 展 覧 会	11月11日～ 11月15日	3,212	-	-	-	3,212	山形市、市教委、市芸術文化協会	
山形大学造形芸術コース 卒 業 修 了 制 作 展	1月29日～ 2月2日	433	-	-	-	433	山形大学地域教育文化学部造形芸術コース	
誠 筆 書 展	1月30日～ 2月2日	629	-	-	-	629	誠筆会	
展示施設貸与事業計(D)		4,664	-	-	-	4,664		

全 展 覧 会 計 (E=C+D)		19,693	2,068	1,266	7,175	30,202		
----------------------	--	--------	-------	-------	-------	--------	--	--

令和2年度新収蔵品リスト

令和3年3月31日現在

○寄贈

作 者 名	作 品 名	制作年	材 質 ・ 技 法	寸法(cm)
桜井浜江	途上	1930年代	キャンヴァス・油彩	130.3×162.1
桜井浜江	人物	1949年頃	キャンヴァス・油彩	72.7×60.6
桜井浜江	静物		キャンヴァス・油彩	45.8×53.2
桜井浜江	肖像		キャンヴァス・油彩	23.0×24.3
桜井浜江	花		紙・油彩	27.3×24.3
桜井浜江	風景		キャンヴァス・油彩	38.3×47.7
桜井浜江	富士		キャンヴァス・油彩	30.3×24.3
桜井浜江	松		金地色紙・油彩	24.3×27.3
工藤道汪	ある刻 私の風景 '00	2000	キャンヴァス・油彩	130.0×162.0
工藤道汪	ある刻 私の風景 '10	2010	キャンヴァス・油彩	130.0×162.0
太田三郎	Post War 46-47 兵士の肖像 1.堀山信太郎(1921-1944)	1994	紙にコピー	各 28.5×15.2
太田三郎	Post War 46-47 兵士の肖像 2.中山成雄(1913-1940)	1994	紙にコピー	各 28.5×15.2
太田三郎	Post War 46-47 兵士の肖像 3.兵藤春次郎(1922-1946)	1994	紙にコピー	各 28.5×15.2
太田三郎	Post War 46-47 兵士の肖像 4.村田弘道(1918-1944)	1994	紙にコピー	各 28.5×15.2
太田三郎	Post War 46-47 兵士の肖像 5.松山孝次(1926-1945)	1994	紙にコピー	各 28.5×15.2

太田三郎	Post War 46-47 兵士の肖像 6.片田彰吾(1915-1944)	1994	紙にコピー	各 28.5×15.2
太田三郎	Post War 46-47 兵士の肖像 7.片田四郎 (1917-1945)	1994	紙にコピー	各 28.5×15.2

以上の美術品 17 件を基本財産収蔵品(不可欠特定財産)とする。

○寄託

作 者 名	作 品 名	制作年	材 質 ・ 技 法	寸法(cm)
佐藤朝山	鹿		木彫	9.4×19.9×42.0

令和2年度収蔵品貸出一覧

作者名	作 品 名	借受館又は借受者	貸 出 事 由	貸出期間
モネ マティス	ジヴェルニー付近の リメツの草原 花とコーヒーカップ	ポ ー ラ 美 術 館	モネとマティス もうひとつの楽園	3/23-7/27
モネ マティス	睡 蓮 緑と白のストライプのプ ラウスを着た読書する女性	ポ ー ラ 美 術 館	モネとマティス もうひとつの楽園	7/28-11/24
佐藤助雄	振 り 向 く	天 童 市 美 術 館	生誕100年記念 佐藤助雄彫刻展	8/19-9/30
ピカソ など	剣 を 持 つ 男 など51点	弘 前 市 立 博 物 館	パリの見た夢 服部コレクション 20世紀フランス絵画展	9/22-11/11
結城天童	耕 山 月 牛 月 山 月 明	大 田 区 立 龍 子 記 念 館	青龍社から東方美術協会へ	10/7-11/27
ゴッホ	静物、白い花瓶のバラ	ア ー テ ィ ゾ ン 美 術 館	琳派と印象派 東西都市文化が生んだ美術	10/26- 2021/2/2
与謝蕪村	奥の細道図屏風	府 中 市 美 術 館	与謝蕪村 「ぎこちない」を 芸術にした画家	2021/2/27- (貸出中)